

収入状況申告書

(別紙)

収入及び所得について

【記載例】給与所得の場合

以下の太枠内に記入してください。

※ 被保険者の被保険者番号・氏名と、月別の所得状況を記入してください。

※ 本書は個人単位となっているため、申請書において「前年中の収入」と「現在の収入」のどちらも「なし」と回答された方以外全員分の作成が必要です。

※ 事業所得のある方は裏面に記載してください。

被保険者番号	000×××	氏名	国保 太郎
--------	--------	----	-------

※ 給与・年金・事業以外の所得が複数種類ある場合は、所得の種類ごとに本書を作成してください。

月別	給与・年金収入		給与・年金・事業以外の所得(非経常所得を除く)		
	給与収入 (A)	年金収入 (B)	所得		
			所得の種類を記入してください。		
			収入金額	経費等	所得金額 (C)
4月	円				
5月	円				
6月	円				
7月	80,000 円				
8月	50,000 円				
9月	50,000 円	円	円	円	円
10月	円	円	円	円	円
11月	円	円	円	円	円
12月	円	円	円	円	円
1月					円
2月					円
3月	円	円	円	円	円

事実発生日の属する月(事実発生日)の翌月から3か月分の収入を記載してください。
 なお、申請月が事実発生日の翌月から起算して4か月目以後である場合は、申請月を含む直近3か月を記載してください。
 【例】事実発生日：6月 申請月：7月 ⇒7~9月を記載
 事実発生日：3月 申請月：7月 ⇒5~7月を記載

給与収入のみの方で、事実発生日：6月、申請月：6月の場合はこのような記載になります。

前年中に非経常所得のある方は、こちらに合計額を記載してください。

前年非経常所得合計額	円 (D)
------------	-------

(※) 非経常所得とは、所得税法施行令第198条1号に規定する経常所得(利子所得、配当所得、不動産所得、事業所得、給与所得及び雑所得)以外の所得をいいます。

職員記入欄

___月~___月の 給与収入の平均×12	円 (E)	見込み給与所得 (E-控除額※)	円 (F)
--------------------------	-------	---------------------	-------

※所得金額調整控除を含む

___月~___月の 年金収入の平均×12	円 (G)	見込み年金所得 (G-控除額)	円 (H)
--------------------------	-------	--------------------	-------

(___月~___月の) 所得の平均×12	円 (I)
----------------------------	-------

年間見込み所得 (事業所得除く) D+F+H+I	円 (J)
--------------------------------	-------

【記載例】 事業所得の場合

青色申告決算書や収支内訳書等を提出される場合も、この用紙で月別の内訳を申告してください。
(見込みで作成するときのほか、審査保留後に所得把握資料として提出される時も同様)

※ 事業所得以外の所得がある方は、表面にも記入してください。

事実発生月が3月で、申請月が6月の方の場合、このような記載となります。

事業所得					経費等 (③) 算出 <small>※確定申告時に記載する年額を記載</small>	
月別	①売上金額	②仕入金額	③経費等 <small>(④の額を各月に記載)</small>	所得金額 <small>(①-②-③)</small>		
4月	500,000円	250,000円	150,000円	100,000円	売上原価 (仕入金額以外)	円
5月	400,000円	150,000円	150,000円	100,000円	租税公課	円
6月	300,000円	100,000円	150,000円	50,000円	荷造運賃	円
7月	300,000円	100,000円	150,000円	50,000円	水道光熱費	300,000円
8月	300,000円	100,000円			旅費交通費	50,000円
9月	300,000円	100,000円			通信費	円
10月	300,000円	100,000円				
11月	300,000円	100,000円				
12月	300,000円	100,000円				
1月	円	円				
2月	円	円				
3月	円	円				

事実発生月の翌月(ただし、申請月が事実発生月の翌月から起算して3か月を超える場合は、申請月の2か月前)を起算月として、12月までの状況を記載してください。

【例1】 事実発生月：6月 申請月：6月 ⇒ 7～12月を記載
【例2】 事実発生月：3月 申請月：7月 ⇒ 5～12月を記載

ただし、起算月が11月以降である場合(事実発生月が10月以降の場合など)は、3か月分を記載してください。

【例3】 事実発生月：10月 申請月11月 ⇒ 11～翌年1月を記載
【例4】 事実発生月：9月 申請月：翌年2月 ⇒ 12～翌年2月を記載

①②については、青色申告決算書を提出される場合は「月別売上(収入)金額及び仕入金額」の額を記載してください。
③については、右の欄で経費等の合計額を算出し、1/12にした金額(④)をひと月あたりの経費等として記載してください。

青色申告特別控除	550,000円
経費等合計	1,800,000円

↓

④ひと月あたりの経費等 (合計の1/12)	150,000円
--------------------------	----------

職員記入欄

⑤ ____月～____月の事業所得合計	円
----------------------	---

減少後の事業所得 (⑤) の月平均×12	円 (K)
----------------------	-------

年間見込み所得合計 表面J+K	円
--------------------	---